



iMac Intel 27インチモデル (EMC 2390) の光学ドライブ交換手順

光学ドライブに老眼鏡が必要な状態になったら、それはおそらく光学ドライブの取り替え時期です。...

作成者: Brett Hartt



はじめに

光学ドライブに老眼鏡が必要な状態になったら、それはおそらく光学ドライブの取り替え時期です。このガイドを使用して、iMac EMC 2390(mid 2010)の光学ドライブを交換してください。

🔧 ツール:

高荷重用吸盤カップ(2個セット) (1)
Paper Clip (1)
スパッジャー (1)
T10 トルクスドライバー (1)
ピンセット (1)

⚙️ 部品:

iMac Intel 21.5" and 27" (Late 2009-Mid 2011) SATA Optical Drive (1)

手順 1 — ガラスパネル



- ガラスパネルの上部コーナー付近の2箇所に、重量用の吸盤カップを取り付けます。
- ① [吸盤カップ](#)を装着するには、まず可動ハンドルがガラスパネル表面と平行になるように吸盤カップを載せます。(2番目の画像を参照してください。)
- 吸盤カップをガラスに軽く当てながら、可動ハンドルをもう一方のハンドルと平行になるまで持ち上げます。(3番目の画像を参照してください。)
- ① 吸盤が上手く固着しない場合は、ガラスパネルと吸盤カップの両方を柔らかくリントフリー (メガネ拭きなど)の布を湿らせて軽く拭きます。(一番効果的な方法は、蒸留水、もしくは蒸留水と白酢を同じ割合で調合したものを布に含ませます。)
- ⚠️ [吸盤カップ](#)を使ってディスプレイガラスを運ばないでください。吸盤カップのいずれかが上手く固着されていないと、スクリーンが落下して壊れてしまう可能性があります。
- ① 購入時のオリジナルiMac用梱包ボックスは、ガラスパネルを保管するのに最適な場所です。それ以外は、安定した水平上の表面、机の上にタオルを敷いた上に載せておく安全です。

手順 2



- ガラスパネル上部端の裏側に沿って付けられたスチール製の取り付けピンが外れるように、LCDパネル表面に対してガラスパネルを垂直に、ゆっくりと持ち上げます。
- ガラスパネルをiMac下端端から引き離し、慎重に脇に置きます。
 - ⚠ 吸盤カップを使用してガラスパネルを運ばないでください。どちらかのグリップを失うと、パネルが落下して破損する可能性があります。
 - ⚠ ガラスパネルを安全に下ろした後、時間の経過とともに吸引力が弱まり、ガラスが割れてしまう危険性があるため、吸盤カップを必ず外してください。
- ☑ 再装着の際は、ガラスパネル内側とLCDの表面を慎重に拭いてください。デバイス本体の電源を入れると、ほこりや指紋が内部に閉じ込められています。

手順 3 — ディスプレイ



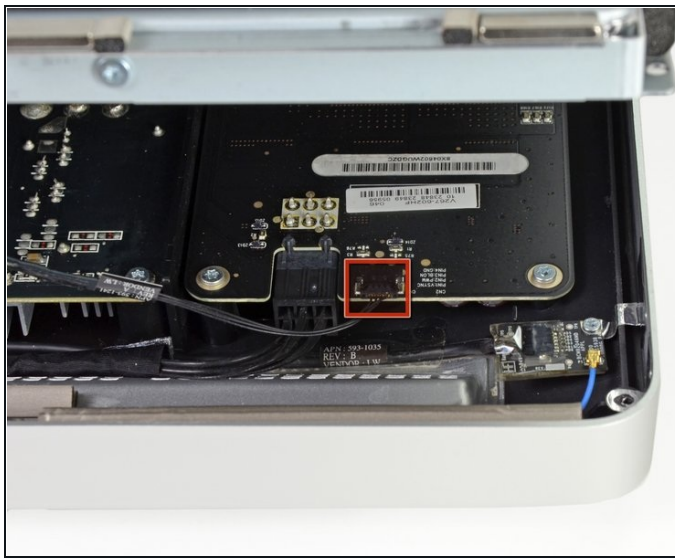
- LCDをアウターケースに固定しているT10トルクスネジを8本外します。

手順 4



- iMacのスタンド側を下に向けて、慎重に平面に置きます。
 - ① 隙間が狭いため、細いフック状の工具を使用してディスプレイを持ち上げ、アウターケースから取り外します。3番目の写真のように、折り曲げたゼムクリップから工具を作ってみました。
 - 細いフック状の工具をディスプレイのスチール製アウターフレームに差し込み、トップエッジの片側から持ち上げます。
 - ① ディスプレイの片側のトップエッジが持ち上がったら、アウターケースに戻らないように保持しながら、フック状の工具を使用してもう片側を持ち上げます。
- ⚠ 2つの部品が数本の短いリボンケーブルでまだ接続されているため、ディスプレイの片側のトップエッジをアウターケースから持ち上げすぎないようにしてください。

手順 5



- iMacの左上隅付近にあるLEDドライバボードから、垂直同期ケーブルを指で慎重に引き抜きます。

⚠ 必ずLEDドライバボードのソケットから、真っ直ぐかつ平行にコネクタを引き抜いてください。

手順 6



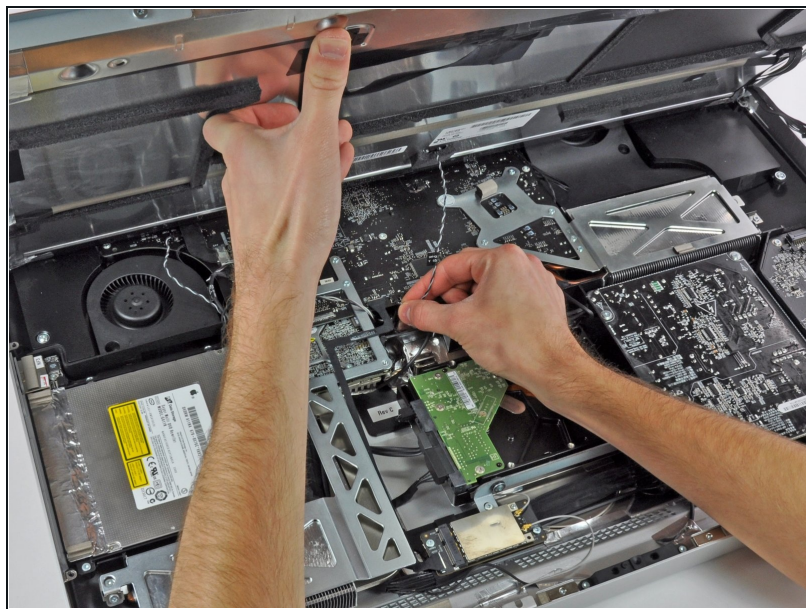
- ディスプレイのデータケーブルコネクタにある2つのストッパーを押し込んで、ロジックボードのソケットのロックを解除します。
- ディスプレイのデータケーブルコネクタを、ロジックボードのソケットから引き抜きます。

手順 7



- LEDドライバボードからLEDバックライトの電源ケーブルを取り外せる程度にまで、ディスプレイを持ち上げてアウターケースから離します。

手順 8



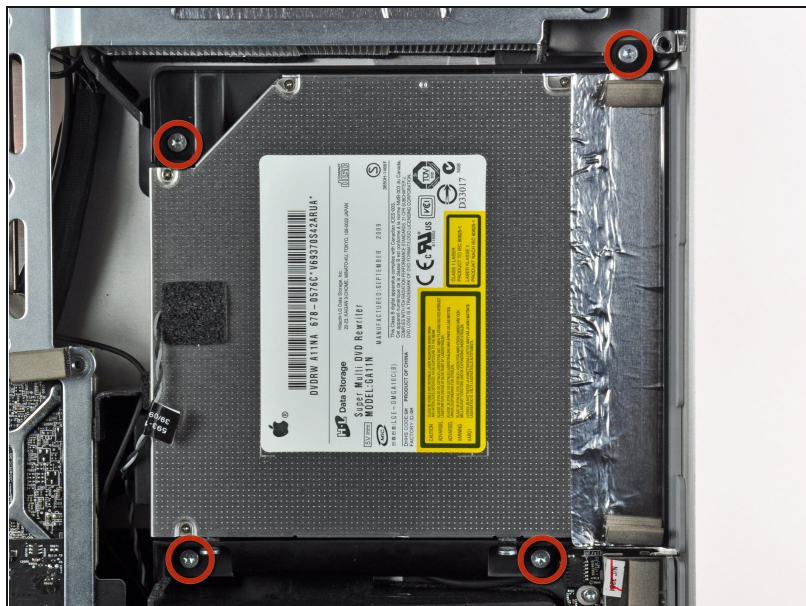
- LCD温度センサーケーブルを、ロジックボードのソケットから取り外すために十分な空間ができるように、ディスプレイを持ち上げます。
- ① 作業の完了後にファンが最高速度で回転するようであれば、このコネクタか、またはハードドライブの温度センサーケーブルの接続を確認してください。

手順 9



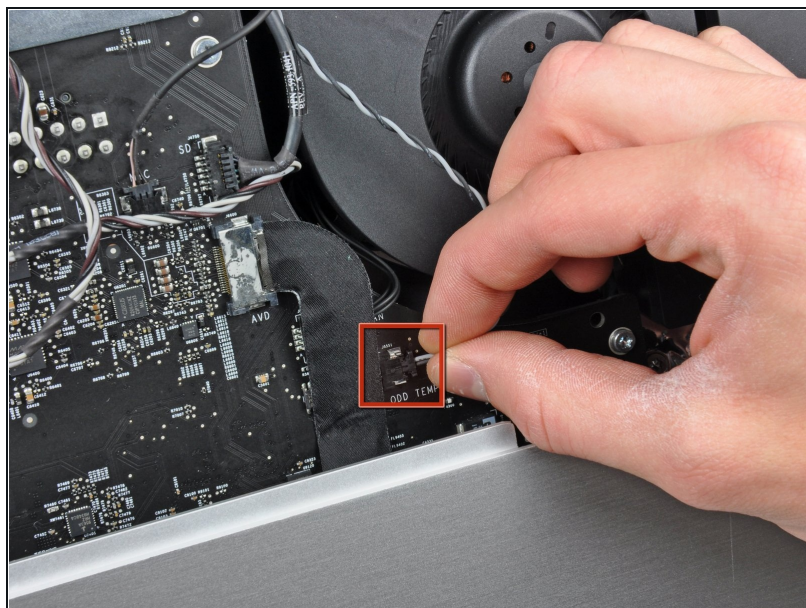
- ディスプレイをiMacの上側端に向けて慎重に引き、アウターケースから取り外します。

手順 10 — 光学ドライブ



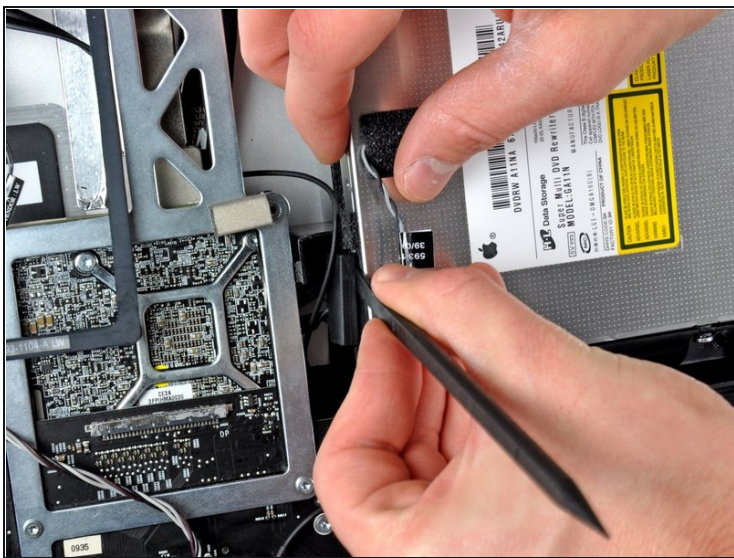
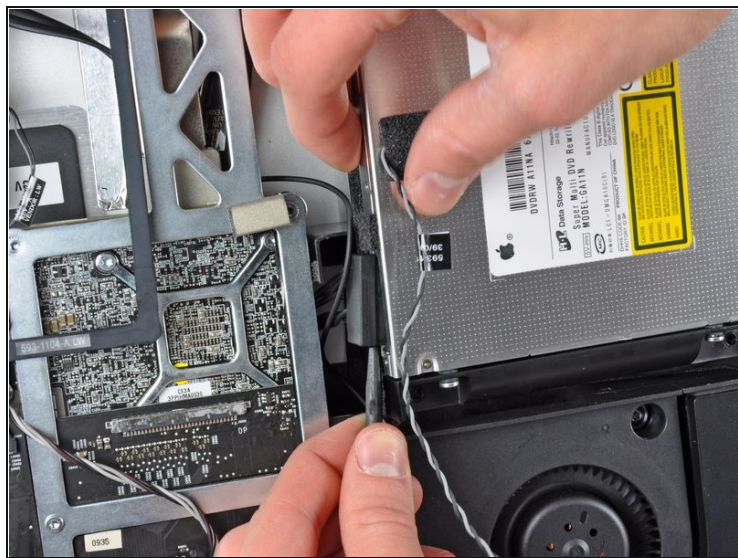
- 光学ドライブをアウターケースに固定しているT10トルクスネジを4本外します。

手順 11



- ロジックボード上のソケットから光学ドライブの温度センサーコネクタを引き離します。

手順 12



- スパッジャーを光学ドライブコネクタと光学ドライブの間に差し込みます。
- 光学ドライブコネクタを光学ドライブから、わずかに乖離するため、スパッジャーをひねり、それから指を使ってドライブからコネクタを引き離します。

手順 13



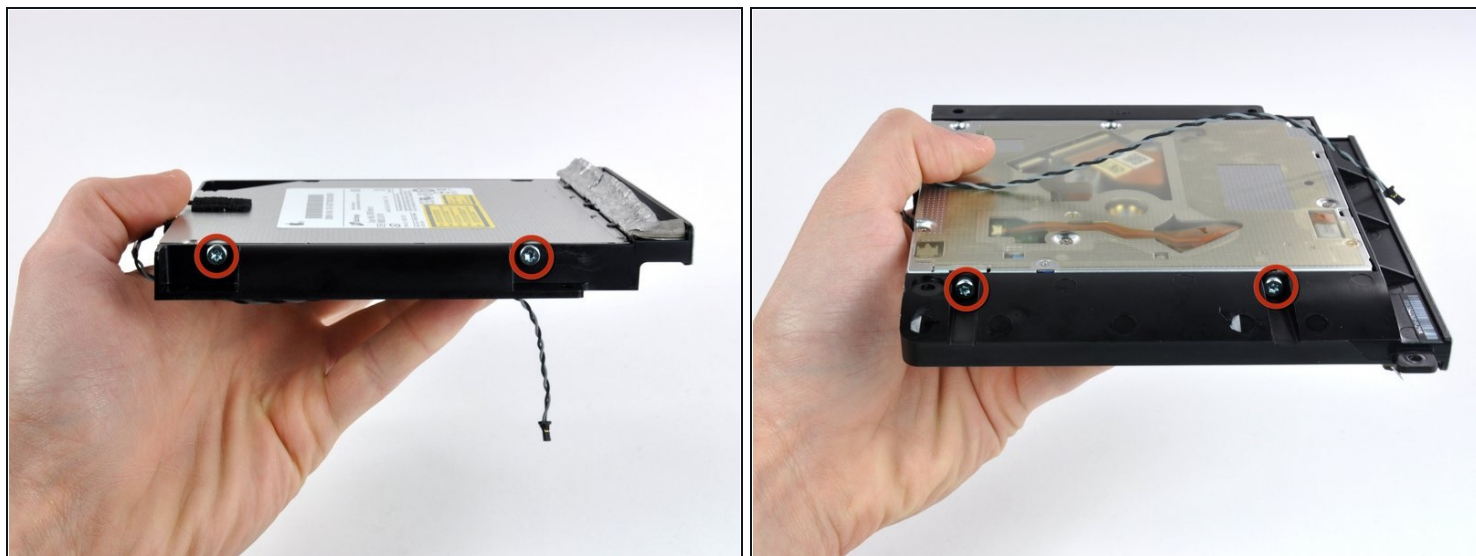
- 光学ドライブの左側端を若干持ち上げて、外ケースの右側端から引き離します。
- 再組み立ての際には、光学ドライブのフェースプレートに2つのホールが付いています。光学ドライブのフェースプレートには2つの穴が開いています。この穴に、2つの短くて太いプラスチック製ポストが正しく装着されているか確認してください。

手順 14 — 光学ドライブ



- アルミ製テープの赤でハイライトされた部分を剥がします。残りの部分は黒いプラスチックの光学ドライブブラケットに装着したままにしてください。
- ① EMIテープ全体を光学ドライブブラケットから剥がす必要はありません。

手順 15



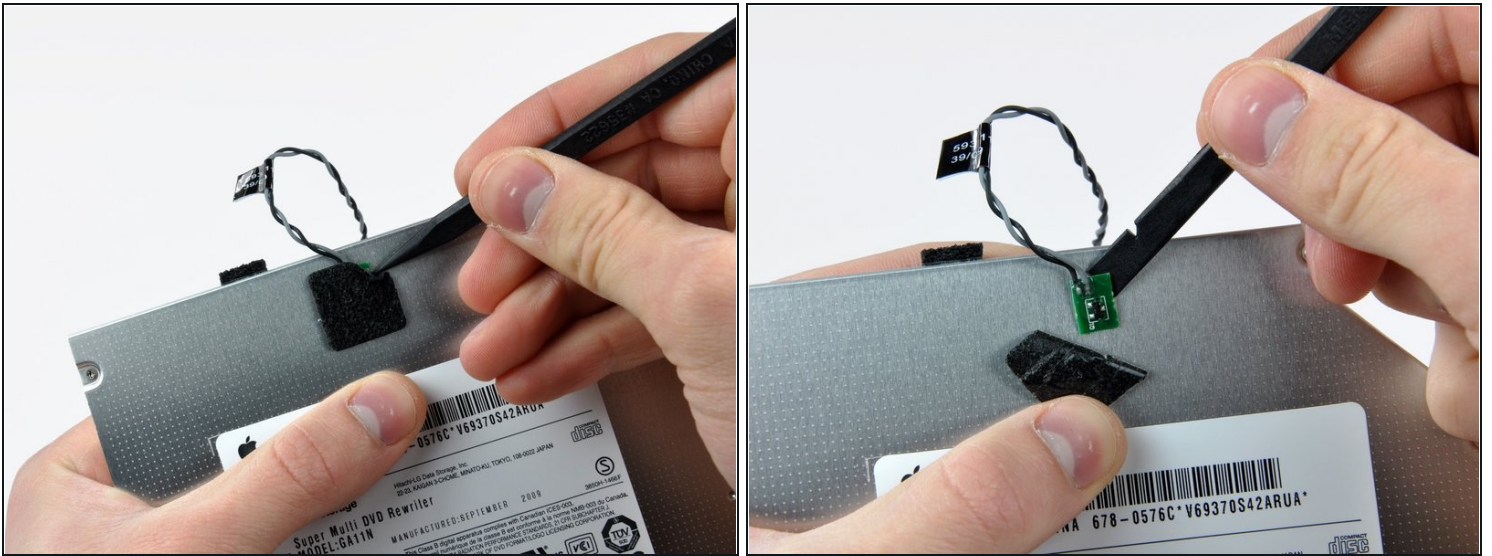
- 光学ドライブの両側からT10トルクスネジを2本(合計4本)ずつ外します。

手順 16



- スパッジャーの先端を使って、光学ドライブブラケットの各タブを、ドライブ下部にあるスロットから押し出します。
- 光学ドライブのブラケットを光学ドライブから、わずかに回転させて取り出します。
- 光学ドライブのブラケットを、光学ドライブのオープンエンドから引き抜きます。作業中、タブが引っかからないようにご注意ください。

手順 17



- スパジヤーの先端を使って、光学ドライブのサーマルセンサを覆っているフォーム製テープの一部分を剥がします。
- スパジヤーの平面側先端を使って、光学ドライブに装着された接着剤からサーマルセンサを慎重に剥がします。
- 光学ドライブ内部にディスクや異物が詰まってしまった場合用に、[修理ガイド](#)を用意しています。

デバイスを組み立て直すには、以下の手順を逆の順序で実行してください。